

■ TOSVERT™ VF-AS3J ソフトウェアバージョンアップ情報

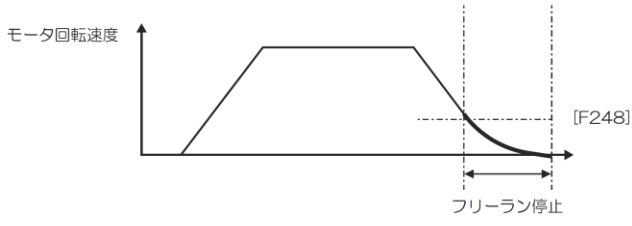
VF-AS3J のソフトウェアバージョンアップによる主な変更点をリストアップしております。

インバータソフトウェアのバージョンは、「VF-AS3J 取扱説明書」(E6582247)【8.1 [モニタモード] の画面表示】の「CPU1 バージョン」にて確認できます。

なお、バージョンアップはお断りなしに実施する事がありますので、ご了承ください。

仕様変更パラメータ

パラメータ	通信番号	内容	ソフトウェアバージョン	取扱説明書対象項
F106	0106	[F106: 3 ワイヤ運転中反対方向指令]を追加 0: 有効 (初期値) 1: 停止 ■機能 [F106]=1 を設定すると、3 ワイヤ運転中に反対方向の運転コマンドを入力した場合、停止させることができます。	Ver120 以降	【7.2.1】
F456	0456	下記機種種の[F456: 励磁フォーシングレベル]のND 定格時の初期値変更 2220PM: 100 → 95% 2300PM: 100 → 90% 2370PM: 100 → 90% 4185PL: 100 → 95%	Ver120 以降	【6.23.1】
A280 A281 A282 F111～ F124、 F126 F151～ F158	A280 A281 A282 0111～ 0124、 0126 0151～ 0158	[A280: 運転信号監視機能選択] = 「0: 無効、1: 運転中、2: 常時」 [A281: 運転信号監視遅延タイマー] = 「100ms～5000ms」 [A282: 運転信号異常トリップ時動作選択] = 「0: トリップ、1: 減速停止後トリップ」を追加。 [F111] ～ [F124]、[F126]、[F151] ～ [F158] (入力端子機能) に「194～197」を追加。 <u>「194: 正転運転2」</u> <u>「195: 正転運転2の反転」</u> <u>「196: 逆転運転2」</u> <u>「197: 逆転運転2の反転」</u> ■機能: 制御指令を行うリレーの溶着対策として、運転信号を二重化し監視する機能を追加しました。 [A280]=1 もしくは2 の場合、正転運転信号と正転運転2信号がどちらもONされた時に正転運転を行い、どちらもOFFされたときに停止します。 正転運転信号と正転運転2信号の一方のみがONの時、現在の状態を維持するとともに、その状態が[A281]以上継続した場合は、[A282]で選択された動作を行い、ErrFトリップします。 逆転 (逆転運転信号と逆転運転2信号) の場合も同様の動作となります。(トリップ表示はErrrとなります) 尚、以下の場合本機能は無効となります。 ・[A280]=1: 停止中 ・[A280]=2: MOFF 発生中	Ver118 以降	【7.2.1】 【11.3】 【11.4】 【11.8】

パラメータ	通信番号	内容	ソフトウェアバージョン	取扱説明書対象項
F400	0400	[F400: オフラインオートチューニング]に「8」、「9」を追加 ■機能： 「8：入力端子 ON でオートチューニング（毎回）」 「9：運転指令 ON でオートチューニング（電源投入後 1 回のみ）」	Ver116 以降	【6.23】
F647	0647	[F647: 制御電源オプション異常検出] に「3: アラーム (A-29)」を追加 ■機能： [+SU] 端子に入力される制御電源電圧が低下した場合に、アラーム「A-29」を表示しますが、インバータは運転を継続します。	Ver110 以降	【6.31.23】
F130～ F138 F159～ F163	0130～ 0138 0159～ 0163	[F130]～[F138]、[F159]～[F163] (出力端子機能)に、機能番号「268/269」を追加。 <u>「268：制御電源オプションアラーム中」</u> <u>「269：制御電源オプションアラーム中の反転」</u>	Ver110 以降	【7. 2. 1】 【11. 3】
FC60	FC60	[FC60: アラームコード 3] を追加 ■機能： 通信からアラームの発生状態を確認できます。「A-29」アラームは、ビット 3 に割当。	Ver110 以降	「RS485 通信機能説明書」 (E6582142)
F709	0709	パラメータ名を [F709: 標準モード表示機能] に変更および「3: 0.1 単位表示」、「4: 1 単位表示」を追加 ■機能： 「3: 0.1 単位表示」 [標準モード] を小数点以下一位まで表示します。 「4: 1 単位表示」 [標準モード] を整数値で表示します。	Ver110 以降	【6.35.8】
TYP	0007	[TYP: 標準出荷設定]に設定値「17: 標準出荷設定 3」を追加。 ■機能： [TYP]＝「3: 標準出荷設定 1」を実行後に、以下のパラメータを VF-AS1、VF-PS1 と同じ標準出荷設定値に自動設定します。 [F107: RX 端子入力電圧選択] ＝「0: 0 ～ +10V」 ⇒「<u>1: -10 ～ +10V</u>」 [F148: AI4 端子入力選択] ＝「1: 電圧入力(0 ～ 10V)」 ⇒「<u>3: 電流入力(0 ～ 20mA)</u>」 [F686: AM 端子切換え] ＝「2: 電圧(0 ～ 10V) 出力」 ⇒「<u>0: メータオプション(0 ～ 1mA)</u>」	Ver108 以降	【5. 1. 9】
F248	0248	[F248: 減速時フリーラン停止]を追加 ■機能 減速中に、設定した周波数未満まで減速すると、フリーラン停止します。 コンプレッサなど、低速回転を避けたい用途に使用します。機械の特性に合わせて設定してください。 	Ver108 以降	—

パラメータ	通信番号	内容	ソフトウェアバージョン	取扱説明書対象項
F130～ F138 F159～ F163	0130～ 0138 0159～ 0163	[F130]～[F138]、[F159]～[F163] (出力端子機能) に、機能番号「260/261」を追加。 <u>「260：オートチューニング中」</u> <u>「261：オートチューニング中の反転」</u>	Ver108 以降	【7. 2. 1】 【11. 3】
F111～ F126 F151～ F158	0111～ 0126 0151～ 0158	[F111]～[F126]、[F151]～[F158] (入力端子機能) に、機能番号「192/193」を追加。 <u>「192：カレンダー OFF」</u> <u>「193：カレンダー OFF の反転」</u>	Ver104 以降	【7. 2. 1】 【11. 3】

取扱説明書の正誤表

ポンプコントロール機能説明書E6582123⑤に対して下記訂正の上、ご使用下さい。

取扱説明書	ページ	内容																								
「ポンプコントロール機能説明書」 (E6582123⑤)	39	10.スリープ機能との併用の(注意)において、 [A200]＝「2」 設定時、[A213]の設定に関係なく、スリープ機能は使用できません。 誤 [A200]＝「2」 かつ [A213]＝「0」 の場合、スリープ機能は使用できません。 (スリープ状態から回復しません) 正 [A200]＝「2」 の場合、スリープ機能は使用できません。 (スリープ状態から回復しません)																								
	13	6.1.3. [A200]＝「1」におけるパラメータ設定例において、 [F359]＝「1」に設定する必要があります。 誤 <table><tr><th>タイトル</th><th>パラメータ名</th><th>設定範囲</th><th>標準出荷設定</th><th>設定値</th><th>備考</th></tr><tr><td>F359</td><td>PID 制御 1</td><td>0 ～ 14</td><td>0</td><td>0</td><td>なし</td></tr></table> 正 <table><tr><th>タイトル</th><th>パラメータ名</th><th>設定範囲</th><th>標準出荷設定</th><th>設定値</th><th>備考</th></tr><tr><td>F359</td><td>PID 制御 1</td><td>0 ～ 14</td><td>0</td><td>1</td><td>プロセス型 PID 制御（温度・圧力等）</td></tr></table>	タイトル	パラメータ名	設定範囲	標準出荷設定	設定値	備考	F359	PID 制御 1	0 ～ 14	0	0	なし	タイトル	パラメータ名	設定範囲	標準出荷設定	設定値	備考	F359	PID 制御 1	0 ～ 14	0	1	プロセス型 PID 制御（温度・圧力等）
	タイトル	パラメータ名	設定範囲	標準出荷設定	設定値	備考																				
F359	PID 制御 1	0 ～ 14	0	0	なし																					
タイトル	パラメータ名	設定範囲	標準出荷設定	設定値	備考																					
F359	PID 制御 1	0 ～ 14	0	1	プロセス型 PID 制御（温度・圧力等）																					
17	6.2.3. [A200]＝「2」におけるパラメータ設定例において、 [F359]＝「1」に設定する必要があります。 誤 <table><tr><th>タイトル</th><th>パラメータ名</th><th>設定範囲</th><th>標準出荷設定</th><th>設定値</th><th>備考</th></tr><tr><td>F359</td><td>PID 制御 1</td><td>0 ～ 14</td><td>0</td><td>0</td><td>なし</td></tr></table> 正 <table><tr><th>タイトル</th><th>パラメータ名</th><th>設定範囲</th><th>標準出荷設定</th><th>設定値</th><th>備考</th></tr><tr><td>F359</td><td>PID 制御 1</td><td>0 ～ 14</td><td>0</td><td>1</td><td>プロセス型 PID 制御（温度・圧力等）</td></tr></table>	タイトル	パラメータ名	設定範囲	標準出荷設定	設定値	備考	F359	PID 制御 1	0 ～ 14	0	0	なし	タイトル	パラメータ名	設定範囲	標準出荷設定	設定値	備考	F359	PID 制御 1	0 ～ 14	0	1	プロセス型 PID 制御（温度・圧力等）	
タイトル	パラメータ名	設定範囲	標準出荷設定	設定値	備考																					
F359	PID 制御 1	0 ～ 14	0	0	なし																					
タイトル	パラメータ名	設定範囲	標準出荷設定	設定値	備考																					
F359	PID 制御 1	0 ～ 14	0	1	プロセス型 PID 制御（温度・圧力等）																					